

事務事業名		外国人相談事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり						担当係	生活安全係	担当課長名	菊地昌之		
	施策	1 市民と協働した地域づくりの推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	4 相互理解の環境づくりの推進						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	2371	一般	2	1	23	外国人相談事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	22年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市市民相談実施要領							
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業						
						任意的事業・義務的事業	任意的事業						
						実施方法	直営						
						事業分類	相談事業						
						リーディングプロジェクト	該当なし						
						市長マニフェスト	該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
事業内容 ・市内居住外国人の相談を受ける窓口を毎月1回、通訳を配置し開設する。また、国際交流フェスティバルにおいて相談会を実施する。 ・相談者の悩みごと及び困りごとの相談に対し、解決の支援や専門機関の紹介等を行う。	・相談事業実施回数 12回(国際交流フェスティバル 台風により中止) ・相談者数 3人					
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
相談事業実施回数	回	13	12	13	13	13

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市内居住外国人	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市内居住外国人数	人	2,017	1,989	2,004	2,004	2,004

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 相談を実施し困りごと悩みごとの解決を支援し不安を解消する	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	相談件数	件	4	3	6	6	6

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市内で日本人と外国人が相互に理解しあって暮らせる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	外国人と交流する市民の割合	%	8.5	10.5	11.0	11.5	12.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		36	30	88	88	88				
	事業費計(A)	千円		36	30	88	88	88				
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託料	36	委託料	30	需用費	4	需用費	4	需用費	4
							委託料	84	委託料	84	委託料	84
人件費	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	100		100		100		100		100		
人件費計(B)	千円	389		394		394		394		394		
トータルコスト(A)+(B)	千円	425		424		482		482		482		

事務事業名	外国人相談事業	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	担当係	生活安全係
-------	---------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・市内に居住する外国人の各種相談を一元的に対応できる窓口設置の要望があった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・市内に居住する外国人は、横ばいもしくは減少傾向であるが、相談内容は多種多様である。 ・市の事務以外の相談が予想されるので国・県等との連携が重要となってくる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市議会において、市内居住外国人の相談窓口の現状と課題について一般質問が出された。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	外国人には、事業の周知が十分とはいえないので、今後相談事業として定着させていく必要がある。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	外国人の心配ごと、困りごと解決につながるため、結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民生活におけるトラブルに対する助言や、解決の支援をすることは市の重要な責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市内に居住する外国人の文化や習慣の違いにより、生活等におけるトラブルの発生や悩み事困りごとの増加が予想される。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	相談窓口があることを周知し、安心して相談をできる対体制を継続して行くことが成果向上につながることになる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費の大部分が人件費にかかる委託料であり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	すべての外国人を対象とし、外国人が市民として安心して生活ができることを目的として行っているものであり、受益者負担を求めるものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
市内で外国人が安心して、暮らすことにつながる事業であり休止・廃止することはできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					